

大分県高等学校教育研究会社会部編

『大分県の歴史散歩』

全国歴史散歩シリーズ 44

秦 政 博

本書は山川出版社の企画による「全国歴史散歩シリーズ」全四七巻のうちの一巻である。このシリーズは、全国津々浦々の史跡や文化財等を各県一巻ごとに紹介したものである。

最近では歴史ブームといわれるほどに、人々の歴史への興味、関心が高まっている。新しい観点から郷土の歴史を見つめ直そうとする動きや、文化財を愛護しようとする活動がしだいに広がってきている。先人の努力の足跡を偲び、郷土の文化を再認識しようとする、「ふるさとのほりおこし」運動が高まりをみせているこの時期に、本書が発刊された意義はまことに大きいものがある。

周知のように、大分県は石造文化財をはじめとした数々の史跡、文化財に恵まれた歴史の宝庫ともいえる地域である。

過去において、これらの史跡、文化財に関しては、学術書あるいは観光案内書の類はあったものの、どうしても一長一短があり、必ずしも手軽に利用できるというものではなかった。本書は、現在の学問的水準を踏まえつつ、それらの不備をおぎなったもので県内の史跡、文化財等の総合案内書であると同時に、入門書として非常に有用、便利な書物である。

執筆は、現在本県高等学校の現場で歴史教育の第一線を担当されている諸氏の共同執筆である。編集責任者は、本県の近世史研究のリーダーである佐藤満洋氏（大分女子高校教諭）である。

県内を六地域に分け、各地域ごとに主要な史跡、文化財を平易な記述で紹介。その場所に行くための経路、利用交通機関、所要時間等々実に懇切丁寧な内容である。各地域のはじめには、その地域の全体像を理解するための、簡単な概説と地域図を載せている。写真も豊富であり、記述内容の理解を助けるための十分な配慮がうかがえる。随所に、その地域の「民俗行事」を紹介し、また「地名の起源」や「主要事件」

などにも触れている。

いままでの書物にみられない独創さと平易さ、そしてどこへでも持ち歩けるコンパクトサイズの手軽さが、本書を県内ベストセラーの一つにした理由であろう。

郷土の歴史に志す人はもちろんのこと、家族やサークルなどで、レクレーションを兼ねた史跡訪問をするような際にも、必携の書物である。

（山川出版社刊・本文二〇八ページ、付録二五ページ

定価四八〇円）

（大分県総務課・県史調査員）